

次のピクセルアーティストはキミだ！ 『シブヤピクセルアートコンテスト2020』開催決定！

～世界最大級のピクセルアートコンテストが4度目の開催～

応募期間：2020年5月1日(金)～6月30日(火)

シブヤピクセルアート実行委員会は、今年で4回目となる「シブヤピクセルアートコンテスト2020（以下、本コンテスト）」を、2020年5月1日(金)より特設ページで開催し、国内に留まらず世界中から多様な「ピクセルアート」作品を募集いたします。



本コンテストは、「ピットバレー」と呼ばれる渋谷を舞台に毎年開催される「ピクセルアート」に特化した世界最大級のコンテストです。応募者は、国籍・年齢・性別・社会人・学生・団体・個人いずれも問わず、TwitterやInstagramを通じて、世界中どこからでも応募が可能です。

今回は、「シブヤ」「A.I.」「人間（らしさ）」「ゲーム」「風景」のいずれかのテーマの中から一つ、または、複数のテーマを組み合わせ「ピクセルアート」を制作いただき、「Shibuya Pixel Art」公式アカウントをフォローし、自身が制作した作品（イラスト、アニメ、映像、彫刻、刺繍、写真、ゲームなど）を「#shibuyapixelart2020」のハッシュタグと「作品タイトル」を付けて投稿いただきます。

審査員には、過去にグーグル、ルノーなどとも協業し、近年はLouis Vuitton Travel Bookの日本版アートワークやゆずの最新アルバム『YUZUTOWN』のジャケットビジュアルを手掛けたピクセルアート界のレジェンドeboyをはじめ、Enhance代表・シナスタジアラボ主宰・慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任教授の水口哲也氏、ファイナル・ファンタジーシリーズのアートディレクションを担当し、「ドット絵の匠」として広く知られる渋谷員子氏、NTTドコモでiモードや絵文字の企画・開発を行い「絵文字の生み親」としても知られる栗田穰崇氏、昨年出版され話題となった「ピクセル百景」の表紙を飾り、ドット絵のGIFアニメーションで世界中のファンを魅了する豊井祐太氏、そして、昨年の「ピクセルアートコンテスト」で最優秀賞を受賞し、今回のキービジュアルを担当したm7kenji氏など、ピクセルアートに精通し、「アート」「ゲーム」「カルチャー」の観点から世界でご活躍の方々をお招きしました。

受賞作品は、渋谷駅周辺で行われるイベント『シブヤピクセルアート2020』で展示されるほか、『ピクセルアーティストコレクションブック』にも作品が掲載されます。そのほか、今年から「Limited Pixel Art賞」「Analog Pixel Art賞」「Beyond Pixel Art賞」の部門賞に加えて、「Pixel Art Game賞」が新設され、協賛企業からは、受賞アーティストによる作品の商品化を支援する「メディコム・トイ特別賞」や、eboyが制作したゆずのアルバム『YUZUTOWN』とビジュアルコラボできる「YUZUTOWN特別賞」なども用意されています。

応募締め切りは、2020年6月30日（火）24:00です。ぜひ奮ってご応募ください。

詳しくは、「<https://pixel-art.jp/>」をご覧ください。

昨年の受賞作品は、「<https://pixel-art.jp/03/contest/>」をご覧ください。

■「シブヤピクセルアートコンテスト2020」の募集内容

【応募要項】

「シブヤ」「A.I.」「人間（らしさ）」「ゲーム」「風景」のいずれかのテーマ、または、それらの組み合わせを「ピクセルアート」で表現。期間中、TwitterまたはInstagramで、「Shibuya Pixel Art」公式アカウントをフォローし、自身が制作したイラスト、アニメ、映像、彫刻、刺繍、写真、ゲームなどを「#shibuyapixelart2020」のハッシュタグと「作品タイトル」を付けて投稿。

【スケジュール】

応募期間：2020年5月1日（金）～6月30日（火）24:00

一次審査：2020年7月中旬

最終審査：2020年7月下旬

結果発表：2020年8月上旬～中旬

表彰式・作品展示：2020年9月25日（金）～27日（日）

【応募資格】

国籍 / 年齢・性別 / 社会人・学生 / 団体・個人 いずれも不問

【応募方法】

期間中、TwitterまたはInstagramで、「Shibuya Pixel Art」公式アカウントをフォローし、自身の「作品タイトル」と「#shibuyapixelart2020」のハッシュタグを付けて投稿。

【審査員】

- ・ Enhance代表・シナスタジアラボ主宰・慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任教授 水口哲也氏
- ・スクウェア・エニックス アートディレクター 渋谷員子氏
- ・ピクセルアートグループ eboy
- ・ドワンゴ株式会社 カドカワ株式会社 取締役 栗田穰崇氏
- ・イラストレーター 豊井祐太氏
- ・SPA2019最優秀者 m7kenji氏

【審査基準】

審査員が、特に重視するポイントは、以下3つの観点です。

- 独自性（Originality）・・・「ジブン」らしさや「個性」
 - 社会性（Sociality）・・・「シブヤ」を代表とする社会との「関係性」や社会に対する「問い」
 - 構成力（Story-telling）・・・与えられたテーマに対する「表現」、その鋭さや深さ、美しさ
- 審査員が一番共感できた作品をそれぞれの審査基準（ジブン）で選出します。

【賞品】

※全審査員による最終審査にて、『ピクセルアート』の独自性、社会性、構成力の3つの観点で、優れた作品に贈られます。

最優秀賞（1名）：賞金30万円／ワコム社製品（Wacom One 液晶ペンタブレット13）／2020年9月に渋谷ヒカリエ（※1）・他で展開される「Shibuya Pixel Art 2020」で受賞者の作品を展示 & 紹介／2020年9月にスクランブル交差点QFRONTの巨大サイネージで作品放映／「Shibuya Pixel Art 2020 Collection Book」に掲載／オリジナルトルフィー

優秀賞（10名）：ワコム社製品（Wacom Intuos）／2020年9月に渋谷ヒカリエ（※1）・他で展開される「Shibuya Pixel Art 2020」で受賞者の作品を展示 & 紹介／「Shibuya Pixel Art 2020 Collection Book」に掲載／オリジナルトルフィー

※1・・・2020年9月25日から渋谷ヒカリエ 8階 8/COURT特設会場にて展示 & 表彰式を開催予定。ただし、新型コロナウイルス感染防止のため、人が密集しないよう配慮し、複数の小規模会場で実施する可能性もございます。

メディアコム・トイ特別賞（1名）：シブヤピクセルアートとメディアコム・トイ社が受賞アーティストのアート作品の商品化を支援（※2）

YUZUTOWN特別賞（1名）：eboyが制作したゆずのニューアルバム『YUZUTOWN』とビジュアルコラボを実現（※2）

部門賞（※2）：

- Limited Pixel Art賞（4名）・・・制限された升目や少ない色数で、芸術性に富んだ作品。
- Analog Pixel Art賞（1名）・・・デジタル表現に留まらず、アナログで、最も意外性に富んだ作品。
- Beyond Pixel Art賞（1名）・・・表現手法に拘らず、「ピクセル」を再定義し、最も独創性に富んだ作品。
- Pixel Art Game賞（1名）・・・制限された升目や少ない色数で体験できる、最も楽しく独自性に富んだ作品。

※2・・・特別賞及び部門賞は、審査員による審査に加え、協賛企業や協力団体とともに決定いたします。

■「シブヤピクセルアートコンテスト2020」の審査員



特別審査委員長：水口哲也

Enhance代表／シナスタジアラボ主宰／慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 特任教授

シナスタジア（共感覚）体験の拡張を目指し創作を続けている。ビデオゲーム作品「Rez」(2001)、「Lumines」(2004)、「Child of Eden」(2010)、「Rez Infinite」(2016)、「Tetris Effect」(2018)などを始め、音楽を光と振動で全身に拡張する「シナスタジア・スーツ」(2016)、共感覚体験装置「シナスタジア X1-2.44」(2019) など、作品多数。エッジ・オブ(EDGEof)共同創業者兼取締役。慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科(Keio Media Design)特任教授。

特別審査員：eboy



ピクセルアートグループ

eBoyは、カイ・フェルメール、シュテファン・ザウアータイグ、スヴェント・シュミタルの3名からなるグループ。アディダスやプレイステーション、ルノー、グーグルなど様々な企業と協業し、近年ではLouis Vuitton Travel Bookのアートワークやゆずの最新アルバム『YUZUTOWN』のジャケットビジュアルを手掛ける。eBoyを駆り立てる基本的なアイデアは、新しい「デジタルツール」や新しい「メディア」を使うこと。「画面」に直接作業することで、「ピクセル」を操り、モジュールのシステム環境が進化し、結果的に複雑なものがリッチなアートワークを生み出している。



特別審査員：渋谷員子

株式会社スクウェア・エニックス
CGデザイナー／アートディレクター

『ファイナルファンタジー』シリーズではキャラクターを中心としたドット絵の制作を担当。「ドットの匠」として広く知られ、その作品の数々で多くのファンを魅了している。



特別審査員：栗田稯崇

株式会社ダウンゴ 取締役／カドカワ株式会社 取締役

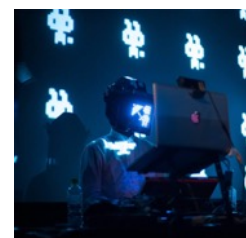
NTTドコモでiモードや絵文字の企画・開発を行う。自身が手がけた絵文字は、2016年にニューヨーク近代美術館（NY MoMA）に永久収蔵された。現在はダウンゴでniconicoの運営代表として、さまざまなネットサービスやゲームをプロデュースしている。



特別審査員：豊井祐太

イラストレーター

1990年生・福島県出身・高校中退。主に風景を題材にしたアニメーションGIFのドット絵を制作し、自サイトやSNSで公開している。収入はサイトで募集した複数のパトロンから得ている。



特別審査員：m7kenji

クリエイター／SPA2019最優秀者

ピクセルをベースにグラフィックやイラスト、映像やアプリを制作するクリエイター。国内のチップチューンシーンでロービットライクなVJを行う他近年は映像を中心としたクライアントワークを製作。2019年度、SHIBUYA PIXELART CONTEST最優秀賞受賞。

詳しくは、「<https://pixel-art.jp/>」をご覧ください。